

ITビジネスモデル委員会報告 2018年度 3月

はじめてのAI(機械学習)プロジェクト
～従来のシステム構築との違いと留意点～

株式会社大塚商会

コンサルティングサービスセンター

講師 システムアナリスト/システム監査技術者 向川 博英 氏

2019/3/22(金)一宮シーサイドオーツカ 会議室

感想1

- AIビジネスについて当社も着手しているものの、まだまだ体系が出来ておらず大変参考になりました。今後とも情報共有させて頂きたくお願いいたします。
- AI導入後も年月とともにAI自体が劣化していくため、メンテナンスが定期的に必要という話は勉強になった。
- 今回のプレゼンは大変興味深く聞かせてもらいました。さすがに大塚商会様はAIに関してすすんでいるなという感想です。我々もAI、RPAはなかなかビジネスにするのが難しくどのように進めるのか迷っています。AIやRPAが早くSMBに浸透する時代が近くに来ていると思いますが人口減社会を迎えて皆様どのようにお考えでしょうか。
- 実際に商売として行われている内容が聞けて非常に参考になりました。

感想2

- かなり実地のかつ具体的なお話で 非常に参考となりました。1年間の委員会の最後として、今までのお話がまとまった知識となった。データサイエンティストの教育、育成が国としても推進して欲しい。ただし、実践に近い教育はかなり難しいと思われる。また、過度な期待を持たれている状況が強いというのも反対のベクトルとして考えなければならぬでしょう。
- AI案件の進め方を、非常にわかり易くご説明いただきよく理解できました。何でもかんでも大量のデータがあればAIを使って分析できるわけではなく、必要となるデータを判断し、集めて分析することが大切であるというお話は、目から鱗でした。AIは準委任契約が基本との事で、費用対効果が読みにくいと感じました。
- AIの先進的なビジネスモデルの取組は参考になりました。ITベンダーの取り巻く環境が厳しくなる中で注力すべきトレンドへの先取りすべき取組にAI事業者とアライアンスを組んでビジネス化していく状況を聞かせて頂き参考になりました。

編集後記

今回は大塚商会様のAIについて、お話をお聞きしました。

1. AIの分類と学習させるデータ
2. 機械学習プロジェクトの進め方
3. 機械学習プロジェクトの課題と留意点
4. 効率的なAI活用法

についてご説明いただいた。

AI案件の取組に関して、大変解りやすくご説明いただいたのが印象的でした。

下記URLから今回のプレゼン内容がダウンロード出来ます(会員限定)

<http://www.jcssa.or.jp/memberJCSSA/dl2.php>